

診療科目：麻酔・集中治療科

カテゴリー：選択科目

一般目標：周術期の患者の安全・危機管理と疼痛を緩和するという麻酔医の責務を習得するために、手術患者の麻酔管理を通して、循環・呼吸・疼痛管理についての知識を整理し、手術麻酔に必要な手技（挿管・人工呼吸、静脈確保、動脈カニューレーション、中心静脈確保、硬膜外カテーテル留置、脊椎麻酔の実施など）を習得する。また、疼痛緩和・終末期医療に参加し、WHO方式による癌性疼痛の管理をできるようにする。さらに、術後や救命救急センターからICUに収容された様々な重症患者の診療に携わり、輸液や人工呼吸管理などの全身管理を修得する。

担当科：麻酔・集中治療科

期間：原則2ヶ月以上

A. 指導体制

1. スタッフ

役割	氏名	職名	医師登録年月日
科目責任者	古木 勲	麻酔科診療部長	1987. 5.23
指導医	西塚 一男	麻酔科診療部長待遇	1991. 5.24

B. 指導原則・方法

1. 指導医（指導補助医）の指導下に、正麻酔医として手術麻酔を担当する。術後ラウンドを行い、周術期における患者管理を理解する。
2. 毎週月曜、木曜日に行われるICU回診に参加する。
3. 毎週木曜日に行われるカンファレンスに参加する。
4. 月に8 - 10回の宅直を適宜行い、緊急手術時の麻酔を経験する。

C. 週間スケジュール（表）

曜日・時間	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19									
月			回診	手術麻酔																		
火																						
水																						
木			回診																		カンファレンス	
金																						

D. 科目責任者からのメッセージ

本コースは手術患者さんの麻酔管理を通して、周術期の循環・呼吸・疼痛管理を行い、麻酔医として必要な知識・技術の修得を目指します。また、術後ICUに収容された重症患者さんの循環・呼吸管理を含めたCritical Careを麻酔・集中治療科、救命センタースタッフおよび各科主治医とともに携わります。